

01

11月 2021

自分の命を少しでも のばすことができますか

by NCM2 CHOIR

全3page



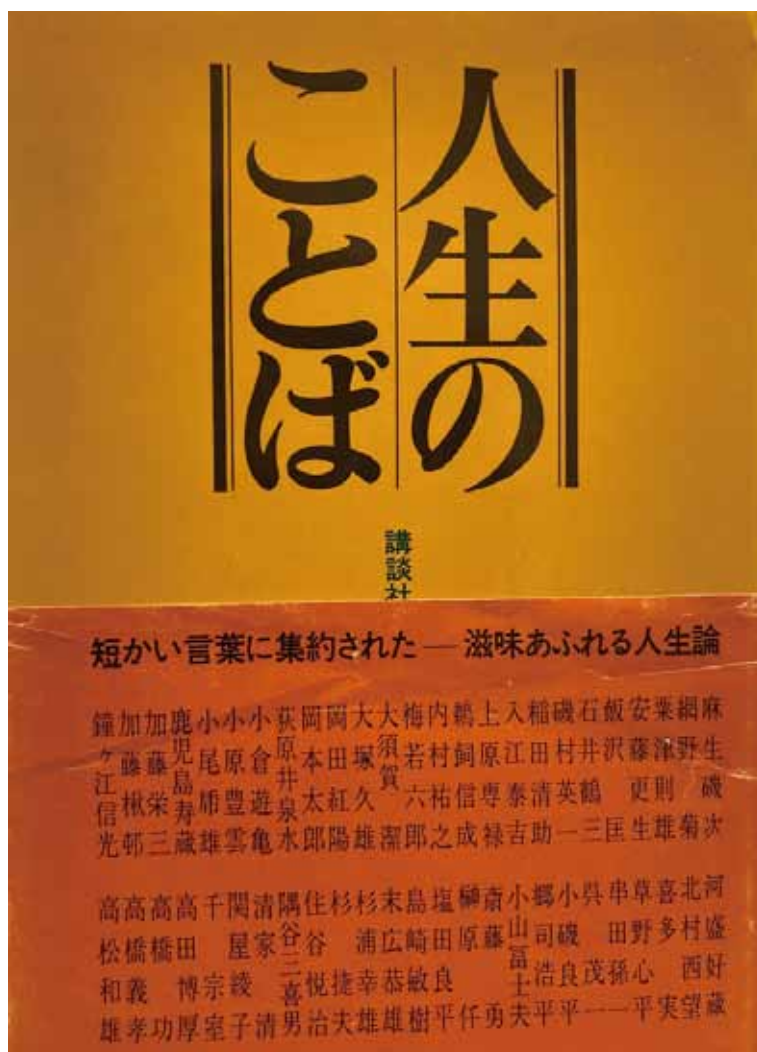
今朝は7時半のアポイントのため、夫を USC ホスピタルに送りました。今日は6か月ごとの癌の検査の日です。ペットスキャンという検査で、これは体内に糖分の液をいれて癌細胞があるかどうか調べる検査です。癌細胞は糖分が好きなので、癌細胞が存在する場合その糖分に食らいつき、光るのだそうです。

2016年に何気なく受けた検査で夫の肺癌がみつかりました。しかもすでにリンパに転移していたため、ステージ4と宣告されました。壮絶なキモセラピー（化学療法）や放射線療法やその後、いろいろなプロセスを経て、寛解（癌細胞が見えない状態）の段階になったのですが、また去年、2020年の検診で耳の下のリンパ癌が発見されました。

それを集中的な放射線治療で克服しましたが、その後の再発予防のための飲み薬の副作用で、苦しみました。心筋梗塞をした後の心臓がさらに弱まり、下痢、と食欲不振という毎日でした。

クオリティライフがおくれないで、毎日この苦しみの中に生きているのもつらく、もし転移したら、キモセラピーをする覚悟がある旨、ドクターに宣言し、薬をやめました。今日の検査はやめてから、初めてのペットスキャンです。

結果がどうなるか、教会の友人達や家族にお祈りを頼みました。心配してもどうしようもありません。それこそ神様のみ、ご存知です。



そんな時、有名人の推薦する言葉を集めた本、「人生のことば」をパラパラと繰っていたら、漫画家の故杉浦幸雄さんが次のように書いているのが目にとまりました。

彼の選んだ言葉は「**自分の命を少しでものばすことができますか**」でマタイ伝6章27節からでした。結構この本の中の有名人はクリスチャンが多いです。

彼は「どんなにエクササイズをしたり、栄養に気をつかったりしても交通事故にあえばそれまでです」、とか「温泉に入って、心臓麻痺で死ぬかもしれない、命は徹頭徹尾、神様のものだ」と言い切っています。

「だから粗末にしては断じていけないが、自分の計らいでそうこうできるものではない。命のことは万事神様にお任せした方が、かえって長生きするんじゃないかな」と締めくくっていました。

友人達に「貴女もご主人のことで大変ね。心配でしょう?」とよく言われますが、幸い、私は、夫の命にしろ、私の命にしろ、杉浦氏が言っているように、神様任せしていますので、心配はしていないのです。

私達を創造してくださった神様は、最善をなさしてくれますから、もっともよい時にたずさえあげてくださることでしょう。

今日の検査の結果は、まだ2, 3日わかりません

竹下弘美



折尾クリスチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話 & FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp

URL <http://www.oriocristianchurch.net>